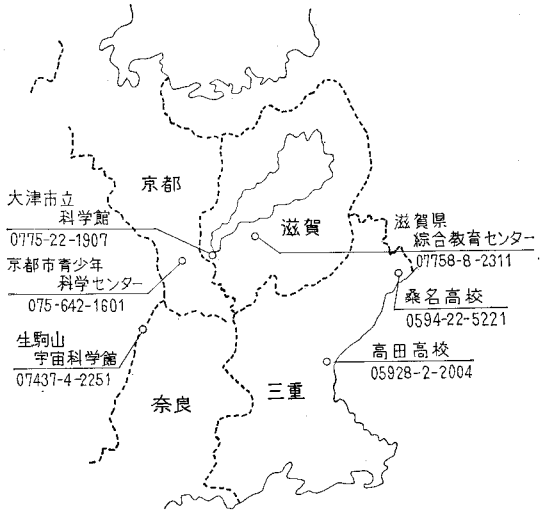


◇ 6月の天文暦 ◇

日時	記	事
1 22	海王星衝	
2 8	下弦	
13	月最遠	
6 17	芒種 (太陽黄経 75°)	
10 4	朔	
11 3	水星内合	
15 7	月最近	
16 24	上弦	
19 1	金星東方最大離角	
22 9	夏至 (太陽黄経 90°)	
23 1	水星留	
24 2	望	



☆ 天文教育施設めぐり (IV) ☆

三重・滋賀・京都・奈良

三重県には、現在一般を対象とするプラネタリウムはなく、学校用として私立高田学苑 (津市 46年11月, ミノルタ 8m ドーム) と、県立桑名高校 (桑名市, 45年5月, ミノルタ 6.5m) が学習専用設置されている。

滋賀県では、湖東の希望が丘に、滋賀県総合センター (野州町, 48年7月, ミノルタ 8m) があり、県の教員研修と児童生徒の天文学習に利用されている。ここには 25cm の屈折赤道儀 (五藤) による観測設備もある。

大津市の湖畔にある大津市立科学館のプラネタリウム (49年6月, ミノルタ 11m) では、大津市内の児童生徒の理科学習の一環に利用されるとともに、一般公開 (土・日) と教員研究にも活用されている。

京都市青少年科学センターは、京都市内の小中 (高等) 学校の児童生徒の理科学習を主体とした大規模な教育施設である。このプラネタリウム (44年5月, ミノル

タ 16m) は、各種の学習専門の補助投影装置が試作され、プラネタリウムの星をつかって生徒が自主的に観察記録をおこなうなど、プラネタリウム学習の基礎的なシステムを多く打出している。併行して市民への一般公開 (木曜以外) と教員研修を実施し、夜間の 25cm 屈折赤道儀 (五藤) による“市民天体観望会” (毎月1回) も盛況である。

奈良県では、生駒山宇宙科学館 (生駒山上・財団法人) があり、プラネタリウム (44年9月, 金子式 7m, オート) が宇宙科学の展示とともに入館者に公開されている。分館の 60cm 反射赤道儀は、会員の観望活動が盛んである。公立のプラネタリウムは現在ない。

以上のように三重・滋賀・京都・奈良については、天文教育施設の数はいくつか少なく、特に三重奈良においては公立の施設がなく、私立によっているような状態である。青少年対策だけでなく、一般教養という面からも、公立の施設の拡充がのぞまれる。 (江上賢三)

